

■■ 化学療法投与計画書《T-DM1療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)トラスツズマブ・エムタンシン(カドサイラ) 3.6mg/kg day1 3週毎

本管①
大塚生食注 250mL 1 袋

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	インラインフィルター使用
大塚生食注 250mL 1 袋	
トラスツズマブ エムタンシン mg	
カドサイラ点滴静注用160mg:	
カドサイラ点滴静注用100mg:	

※初回90分 忍容性良好時2回目以降30分まで短縮可

側管②
【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶
10分

★トラスツズマブ・エムタンシン投与期間中、以下の初期症状(Infusion reaction)に注意すること

- ・発熱、悪寒
- ・嘔気、嘔吐
- ・疼痛、頭痛、めまい、咳、発疹、無力症など
- ・アナフィラキシー様症状
- ・間質性肺炎、肺障害

<実施時の注意>

漏出時:投与を直ちに中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。0.2又は0.22μmインラインフィルター(ポリエーテルスルホン製又はポリスルホン製)を通して投与すること。ブドウ糖溶液との混合を避け、本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。肺臓炎、間質性肺炎等の間質性肺疾患があらわれ、死亡に至る例も報告されているので、初期症状(呼吸困難、咳嗽、疲労、肺浸潤等)の確認及び胸部X線検査の実施等、観察を十分に行うこと。

<用量規制因子>

減量の目安:1段階減量 3.0mg/kg 2段階減量 2.4mg/kg 3段階減量 投与中止 ※減量後に再度増量はしないこと。
投与開始前には心機能を確認すること 投与中にLVEF低下が認められた場合は添付文書を参考に休薬、投与中止

<注意すべき副作用>

- アレルギー様症状 ●食欲不振、吐き気 ●手足のしびれ ●肝障害 ●血小板減少 ●間質性肺炎
- 心機能低下 ●倦怠感